

新潟県初「そよら」 25年秋「そよら三条須頃」を出店 上越新幹線 燕三条駅周辺に新たな生活拠点が誕生します

イオンリテールは本年秋、新潟県三条市に「そよら三条須頃」（以下、当SC）を出店します。当SCは、当社が新潟県内で初めて手掛けるNSC（ネイバーフットショッピングセンター）※1となります。



当社は、新潟県広域都市計画の一つである「県央圏域」における成長戦略を推進すべく、三条市上須頃で「そよら三条須頃」の開発に着手し、新たな生活拠点の実現を目指しています。

当SCは、JR燕三条駅から徒歩8分、北陸自動車道三条燕インターチェンジから車で6分に位置しており、三条市立大学や三条看護・医療・歯科衛生専門学校、済生会新潟県央基幹病院に近接しています。

また、同圏域には北へ600mに「イオン県央店」（開店1991年4月）、東約2kmに「イオン三条店」（同1982年10月）と2店舗が立地していることから、当SCは「そよら」としての「時間消費」を意識した店づくりを進め、「通う・集う・つながる場」を体感いただける商業施設を目指します。

【店舗概要】

所在地：三条市上須頃5009番1外

SC名称：そよら三条須頃

核店舗：イオンスタイル三条須頃

敷地面積：約45,000㎡

店舗面積：約20,200㎡（予定）

SC構造：オープンモール型（核店舗：2階建て SC全体：1～2階建て）

施設数：4棟※2

※1：近隣からの利用を前提に構成した小商圈型ショッピングセンターのこと。

※2：2025年秋時点では、4棟のうち3棟の開業を予定。

【イオンリテールの都市型SC「そよら」について】

イオンリテールが展開する新たな都市型ショッピングセンターの名称。

「通う 集う つながる場」をキーワードに、都市生活に必要なモノが揃い、日々の暮らしをもっと楽しく便利にする毎日のように自然と通う生活拠点」がコンセプト。



「そよら」は、2020年3月オープンの「イオンスタイル海老江」の出店に合わせて実施した一般公募により選出された「“そ” ら、“寄” って、“楽” しんでって!」の呼びかけを由来とした呼称となります。日常にさわやかなそよ風が吹き込むように、都市に住む人々の生活をもっと楽しく、心地よく過ごすための施設、という想いが込められています。

「通う・集う・つながる場」をキーワードに、日常生活で一番便利な都市生活拠点として、「お子さまを連れて一番快適に過ごせる身近な施設」を目指します。

そよら紹介サイト <https://www.aeon.jp/sc/lp/soyora/>

【「そよら三条須頃」アクセスマップ】

